



社会福祉法人滴々会

のん の しゃ

音野舎だより

令和4年9月

82



フラワーパークかごしまへ一日遠足



五月二十九日、梅雨空の中、ケアハウスでは、ご利用者十八名、職員七名の総勢二十五名で、フラワーパークかごしまへ一日遠足に行きました。曇り空でしたが天気も持ちこたえ、楽しい一日を過ごす事が出来ました。あいにくこの日は、園内を巡回できるカートが運転見合わせの為、園内一周は出来ませんでした。したが、植物園を散策したり、持って来たお弁当を食べたり、お土産を買ったりと思いいいに堪能されていました。

帰りに西大山駅のお土産屋にも寄り道をし、買い物を楽しみました。

年間フリーパス券を頂いたので、秋口にまた一日遠足を計画し、季節の花を見て喜んで頂きたいと思えます。



父母の日行事

グループホーム



五月下旬父母の日会を開催しました。

はじめに職員より日頃の感謝を込め、歌をプレゼントし、温かい拍手を頂きました。

次にくじ引きを行い、引き当てたお菓子を手に取るとすぐに中身を確認し、ニッコリされる場面もありました。その他、紙芝居や全員で記念撮影を行いました。

昼食はご利用者のリクエストに依って、職員が心を込めて作った具だくさんの手巻きずしを食べて頂きました。中には、ノンアルコールビールを美味しく飲まれている方もいらっしゃいました。

コロナ禍でご家族と会えない日々が続いていますが、この日が皆様の楽しい思い出の一つとなれば嬉しいです。



父母の日行事

ケアハウス



五月八日、ケアハウスの中庭でカフェテリア風にテーブルをセッティングし、ご利用者の方々と『たこ焼きパーティー』を開催しました。当日は、お天気が良すぎて少々暑かったです。皆様楽しそうに自分たちで焼かれたたこ焼きをほおばり、喜ばれていました。



春の集まり会

五月はデイサービス恒例の『春の集まり会』です。

今年もコロナ感染予防の為外部からの演出はなく、職員とご利用者での開催となり、ゲームを中心に行いました。『叩いて被ってジャンケンポン』では、熱が入り興奮されている方や遠慮して優しく叩かれている方など様々で、見ている方も一喜一憂され、手を叩かれて喜ばれている姿が印象的でした。

『ジェスチャーゲーム』では、なかなか答えが伝わらず、苦戦する様子に職員が思わず答えを伝えてしまいたくなる場面もありましたが、全体を使って一生懸命ジェスチャーをして下さったご利用者には感謝の気持ちでいっぱいです。

昼食では、ジュースとノンアルコールを飲まれ「美味しい♪」と思わず声を出されてしまい、照れ笑いされる方もいらっしやいました。

来年こそは、盛大に春の集まり会が開催され、ご利用者の方々に喜んで頂けることを願います。



グランドゴルフ

五月一九日、看護小規模多機能ホームではグランドゴルフを行いました。

五月にもかかわらず、この日は日差しがとて強く、ご利用者や職員も汗を流しながら行いました。しかし、この日差しに負けないくらい一生懸命プレーされ笑顔が光っていました。中にはホールインワンを出される方もいらっしやいました。

グランドゴルフの後はほっと一息、麦茶で休憩をとり、成績発表を行いました。

体調を崩される方もおらず無事に終了することが出来ました。太陽の下で体を動かし、ご利用者や職員にとっても良い気分転換になりました。



平和公園へ遠足

梅雨の晴れ間にグループホーム・II合同で知覧平和公園へ遠足に出掛けました。

コロナ渦になる前に行ったきりで数年ぶりの外出となりました。到着するとキョロキョロと公園内を見渡し、まるで初めて来たかのような感じのご利用者も数名いらっしゃいました。

新しく設置された噴水の前で記念撮影をしたり、遠足特別ランチ弁当を楽しみました。

時々風が強く職員がご利用者の上着を施設に取りに戻るといった場面もありましたが、お日様のもとでご利用者の皆様、職員、それぞれに有意義な一日になったのではないのでしょうか。



ひまわりドライブ

「たまには外に出掛きたいね」のセリフから、デイサービスでは急遽計画を立て、豊玉姫神社近くの「ひまわり」を見学に行きました。

ご利用者の方々も、久しぶりに外の空気にあたり「気持ちいい」と声を上げていました。たくさん並ぶひまわりを前に記念撮影。満開のひまわりを前に室内とは違った表情のご利用者を撮る事が出来ました。

ひまわりを通して、少しでも皆様に、季節を感じて頂けたら嬉しいです。



スイカ収穫

特別養護老人ホームの中庭で育てたスイカを収穫しました。可愛い大きさのスイカですが、持ってみると思ったより重くてご利用者の皆様もびっくりしていました。「ちゃんと出来ているかな？」と心配しましたが、切ってみると真っ赤に熟れており、「美味しいね」「甘いね」と喜んで召し上がっていました。



七夕行事

七月七日看護小規模多機能ホームでは七夕行事を行いました。

レクリエーション活動時に作った飾りやご利用者がそれぞれの願いを書いた短冊を今年も大きな竹に飾りました。飾りつけを行う際、皆様まるで子供の頃に戻ったかのように目をキラキラさせていました。

今年の七夕も皆様の健康とコロナ終息を願いました。



デイサービスでは、施設に飾る物と、一人一つ家に持って帰れるように七夕飾りを作りました。

色々な飾りの作り方があり、「難しいね」「これどうするの?」と隣同士で話をされ苦戦している様子でしたが、皆様それぞれ楽しみながら、思い思いの飾りを作製されていました。はじめは乗り気でなかったご利用者も少しずつ形になっていくと、楽しそうに手を動かされていました。出来上がると「可愛い」「部屋に飾ろう」などの喜びの声が聞かれました。

施設に飾る七夕には、大きな笹の竹を準備し、短冊にそれぞれの思いを込めて飾りつけを行い、素敵な七夕飾りが出来ました。

水車からくり見学

看護小規模多機能ホームでは、七月十日に豊玉姫神社で行われた、無形民俗文化財である水車からくりを見に行きました。

演目は『海幸山幸 豊玉姫の物語』でした。今年は三年ぶりの上演となり、久しぶりに見たご利用者も真剣な眼差しで見入っており、とても感動されていました。



夜間想定避難訓練

(グループホーム・看護小規模多機能ホーム)



～ 訓練の内容 ～

- 1、消防設備の説明・確認と点検
- 2、発報時の初期対応(発報場所の確認、初期消火、館内放送)
- 3、消防署への通報訓練
- 4、非常召集及び宿直・特養職員夜勤者との連携確認
- 5、避難・誘導応援の手順確認
- 6、館内避難状況の連絡と消防職員への報告訓練
- 7、消火訓練

消防設備の確認



初期消火



避難・誘導応援



避難状況・消防職員への報告



～ 訓練を行った職員の感想・反省点 ～

- ・ご利用者の避難誘導に気を取られ、口元にタオルを当てずに誘導し、避難後居室のドアの閉め忘れもあった。
- ・練習では出来ていたことが訓練本番になると出来ず避難完了を示す札を落とす事を忘れていた。
- ・実際は就寝されているご利用者を起こし、応援が来るまで夜勤者一人で誘導するので、今回の様にはいかないと感じた。

～ 訓練の講評(知覧消防署職員) ～

- ・避難誘導時は慌てずに事故を起こさない様に落ち着いて誘導する。
- ・館内放送は、非常ベルが鳴り響き、声がかき消される為、ボリュームを上げ放送する。
- ・非常口に段差が無いように、段差を埋める工夫をして欲しい。
- ・避難誘導に入っている職員や応援に入る職員は、非常時本部と連携を図り、出火場所や避難状況等を把握し、安全に避難活動が出来るようにして欲しい。
- ・煙が怖い、一酸化中毒になり命を落とす恐れがある為防火扉は閉める。
- ・夜間帯、職員が少なく消防署からの逆信が取れないが、人命救助を優先して欲しい。
- ・消防設備(消火器・防火扉・スプリンクラー・誘導灯 など)の活用。



消火器活動体験



消火器の取り扱いについて

《ピノキオの法則》

- ピ** → ピンを抜く
- ノ** → ノズルを持つ
- キ** → 距離の確認
- オ** → 押す



注意点

- ・ 炎より3～5m距離を置きレバーを押す。
(消火剤は15秒間出る)
- ・ 炎に近寄る際は、ほうきで掃くようにして風上から消火する。
- ・ 消火器はあくまでも初期消火のみ行う為、自分の身長を越えるような時は消火する事が難しい。
- ・ 煙が充満し周囲が見えなくなる為、必ず逃げ場を確認してから消火を行う。
- ・ 力が無い方は消火器を地面に置き、レバーをおす。



～ 消防隊へ質問 ～

Q 音野舎で火災が発生した際、消防隊の到着時間は？

A 消防隊は出動状況にもよるが5分ほどで到着する。

Q 消防隊が到着した際、職員の動きはどうなるか？

A 職員は消火優先になるだろうが、隊長判断で指示が出る。

Q 消防通報の流れは？

A 119番通報後、南薩摩地区消防局が場所の特定を行い、本指令発動後(3分程)出動となる。

Q 火災時の扉は？

A 火災時は扉を閉め、煙を持ち出さないようにする。但し、地震の場合は扉が振動により開かなくなる場合がある為、避難時は扉を開けて避難する。



～ 最後に ～

今回夜間想定という事で避難訓練を実施しました。職員の数も少なく夜勤者のみでの初期消火・避難誘導を行うのは、時間やご利用者が『火事が起きている』という認識が出来ない中での誘導となるので、避難は至難の業と言えるかと思います。

また、夜間は暗闇の中の避難になる為、ご利用者は動揺して避難場所が分からなくなったり、いなくなったりと二次災害が起きてもおかしくないと感じました。いかに早く応援を呼び、被害を最小限に抑えられるかも今後の課題となります。

もし火災が起きたら初期動作や避難場所、避難経路はどこを使うかなどを考え、職員全員が『火事を出さない』という意識を持ち、日頃から防災意識を高めていきたいと思っています。



防災研修『地震について』



第一回職員研修会を行い、防災『地震』の発生時についてDVD視聴にて勉強会を実施しました。日本は地震大国であり、地震発生時にどのような行動をとるか、自助「自分の身は自分で守る」、公助「消防や警察等の公共の助け」共助「隣近所、自主防災組織」が大切だと学びました。

日頃から懐中電灯の確認、3日分の非常食の準備、地域の連携の強化、消火器の使用方法、応急処置の仕方、自宅内の安全対策(耐震診断、家具固定)が必要です。家族間でも防災会議を定期的に行い、避難経路、連絡方法、防災マップを確認し、危険箇所は近所の人と協力をしてマップの作製を行い備えておく事が災害発生時には役立つとの事でした。

音野舎でも改めて地震発生時に職員一人一人がどのように動くか、ご利用者に合わせた避難方法を日頃から考え、備えなければならぬと感じました。

地震発生時の対応を『総務省消防庁のホームページ』に詳しく記載されています。お時間のある時にご覧になり地震発生時の対応にお役立て下さい。

～皆様へご紹介～



四月になると、鮮やかな緑を一望することが出来る知覧町の風景です。新茶の季節を知らせるこの頃、私たちは南九州市茶業振興会知覧支部様より貴重な新茶を毎年頂いております。

コロナ渦によりこの三年間は、ご利用者との贈呈式はなく、職員がお受けしていました。「いい出来栄えでした」とのお話を聞き、音野舎ご利用者にも大きな声でお伝えすると、「元気な頃はお茶作業を手伝っていた」と笑みを浮かべる方もいらっしゃいます。お茶は口に入る前から元気をもたらすようです。

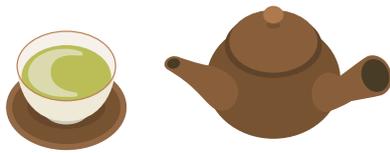
お届けくださいました南九州市茶業振興会知覧支部様ありがとうございました。

ご利用者の喉を潤すと同時に健康維持の手助けをして頂けることでしょうか。

心より感謝申し上げます。



南九州市茶業振興会知覧支部様より
2022・05・12



新職員



●名前●
林川 重幸

●所属●
デイサービス

●好きな食べ物●
炭水化物食品(特に麺類)

●嫌いな食べ物●
鳥刺し、馬刺し…熱を通さない肉類は苦手です。
(魚貝類等生ものは大丈夫です。)

●今後の抱負●

挑戦してこそ人生の醍醐味を味わえるのである。「挑戦無き人生は不毛である」のことわざが好きです。完成は無く、常にもっと新しく出来る事はないか、築き上げたものはもう過去のことでこだわってはいけない、変えてはいけないこと、変えるべきことを整理して常に進化しなくてはいけないと思っています。(注:何が何でも変えるという意味ではありません)

●最後に一言●

遊びは誰でも一生懸命になっていると思います。ゴルフ、球技、パチンコ、マーじゃん等、さぼっていい加減に遊んでいる人はいないと思います。一生懸命にやるから楽しく、介護も一生懸命にやると自分の壁を乗り越えられ、それが喜びとなりまた一生懸命に頑張る、その繰り返しで、気付いたら凄く自分に出会えるかもと思っています。それはとても幸せなことかもしれません。

発行

社会福祉法人 滴々会
高齢者総合福祉施設 音野舎(のんのしゃ)
〒897-0302
鹿児島県南九州市知覧町郡2072番地2
TEL 0993(58)7171 FAX 0993(83)4771
URL <http://www.nonnosya.com/>
E-mail info@nonnosya.com

編集後記

少しずつ日の沈む時間が早くなり、夏から秋へと季節が変わろうとしています。

体調を崩しやすくなってきますが「食欲の秋」「運動の秋」と言いますように、体調管理を行いながら体を動かし、たくさん栄養を摂り、元気な毎日をお過ごしください。